



トップリーダーセミナー

「これからの大学教育と経営の在り方 ～生き残る大学となるために～」

秦 敬治(岡山理科大学 副学長・教育学部長)

講師略歴

1986年西南学院大学職員、2006年愛媛大学助教授～教授、2014年追手門学院大学副学長、2018年岡山理科大学副学長。専門は教育経営学(博士 教育学)。特に、高等教育経営で大学運営の在り方、教学マネジメント、教職員の能力開発、リーダーシップ論、コーチング等の研究・教育と実践を行っている。多くの大学でのFD・SDに加え、学生のリーダーシッププログラム開発・実施も行っている。また、大学や企業のコンサルティングを行うとともに、経営者・行政の管理職・市民向けのリーダー養成研修も多数、引き受けている。さらに、一般社団法人大学改新機構を設立し、全国の大学関係者とともに学生の成長にポジティブに関与するための教職員の能力開発と大学組織運営について、研究と実践を重ねている。

プログラム概要

残念ながら、現在の日本の大学は、入学者の確保、教育、マネジメント等、様々な面で苦勞しており、さらにはグローバル化やDXにも対応できておらず、世界だけではなく、アジアの中でもランキングが低下している。このプログラムでは、現在の日本の大学の何が問題であるかを考え、これから大学を取り巻くネガティブな要因についても提示しながら、今後の進むべき道を模索する。その上で、大学自らがビジョンや計画を策定する重要性とそれらを動かすポジティブな組織文化の醸成方法について、いくつかの事例も紹介しながら参加者の皆さんと一緒に考えるきっかけを提案する。

準備物・事前課題

特になし。

主な受講対象者

- ・教員・職員を問わず、大学運営に管理職として関わっている方
- ・教員・職員を問わず、大学運営や教学マネジメントに関心のある方
- ・今後の大学の在り方について関心のある教職員の方々

到達目標

1. 日本の大学における問題点について説明することができる。
2. 近い将来に日本の大学に起こるネガティブ要因について説明できる。
3. 中期ビジョンと中期計画の重要性を説明できる。
4. ポジティブな組織文化醸成の重要性について説明できる。
5. 1～4を踏まえて、自分なりの大学の課題とその解決法を考えることができる。

日時

8月25日(木) 12時30分～14時30分